

令和4年第12回教育委員会議事録

令和4年7月13日（水）

杉並区教育委員会

教育委員会議事録

日 時 令和 4 年 7 月 13 日（水）午後 2 時 00 分～午後 2 時 22 分

場 所 教育委員会室

出席委員 教 育 長 白石 高士 委 員 對馬 初音

委 員 久保田 福美 委 員 伊井 希志子

委 員 折井 麻美子

出席説明員 事務局次長 齊藤 俊朗 庶務課長 村野 貴弘
生涯学習担当部長 学校ICT担当課長

事務局職員 庶務係長 佐藤 守 担当書記 松尾 菜美子

傍 聴 者 1 名

会議に付した事件

(報告事項)

- (1) 「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会の実施状況について

目次

報告事項

- (1) 「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会の実施状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

教育長 ただいまから、令和4年第12回杉並区教育委員会定例会を開催いたします。

それでは本日の会議について、事務局より説明をお願いいたします。

庶務課長 本日の議事録の署名委員につきましては、教育長より事前に折井委員との指名がございましたので、よろしくをお願いいたします。

本日の議事日程についてでございますが、報告事項1件を予定しています。

以上でございます。

教育長 それでは、本日の議事に入ります。

事務局からの説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは報告事項1番、「『杉並区教育ビジョン2022』意見交換会の実施状況について」、私からご説明させていただきます。

資料をご覧ください。

今回の教育ビジョンは、「すべての人が教育の当事者」であり、区民自身が考えながら「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を育ててほしいと考えてございます。

審議会の委員からも、このビジョンについて子どもを中心に区民が話し合う機会があるといいというふうな要望がありました。

そこで、今年度「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会について、教育委員会としても力を入れて取り組んでいるところでございます。

「杉並区教育ビジョン2022推進計画」では、教育ビジョンの理解促進の取組としまして、計画上は5回、意見交換会を実施するというふうな形としてございます。各区立小中学校に授業等で意見交換会の機会を設けてもらえないかと依頼したところ、多くの学校から手が挙がり、今回報告する分を含め、計20回の意見交換会を実施する予定となりました。

資料に戻りまして、既に実施した5回の意見交換会について報告いたします。

1回目が6月17日、これは天沼小学校6年生のクラスで実施しました。資料としまして、別途、意見交換会報告書を付けさせていただいていますので、ご覧ください。

各クラス9つのグループに分けましてグループワークをするということで、教育委員会からも、事務局次長、教育政策担当部長、済美教育セ

ンターの統括指導主事や指導主事のほか、庶務課の職員も参加しまして、9つのグループにそれぞれ入って、子どもたちの議論に参加させていただきました。

内容については、「自分のしあわせ」は何か、「みんなのしあわせ」は何かを考え、更に「みんなのしあわせを創る」ために、自分たちに何ができるのか、学校・地域に何をしてほしいのかということを議論し、発表した内容となっております。

2回目の6月18日、こちらにつきましては、桃井第四小学校の方で学校運営協議会委員10名と教員21名、そのほかにも元審議会委員1名が参加しまして、教育委員会からも3名の職員と一緒に参加させていただきました。

こちらにも報告書を添付していますのでご覧ください。

内容としましては、一人ひとりが教育の当事者として心がける5つの視点のうち、「子どもの思いを尊重する」と「対話を大切にする」をテーマに、模擬授業やグループワークを通して授業に取り入れることの良さや難しさ等について考えたものでございます。

3回目が6月29日、こちらは荻窪中学校3年生2クラスで、学校運営協議会委員9名、元審議会委員1名のほか、教育委員会から2名参加しました。

こちらにつきましては12のグループを作り、グループワークを行いました。今までの学校生活で幸せに感じたことを振り返りながら、みんなが幸せに思う学校はどんな学校かを考え、これからの学校生活に向けての思いを話し合ったものでございます。

3回目以降は、まだホームページにはアップできていないんですけど、順次アップしていく予定でございます。

4回目が7月9日の井荻小学校。こちらにつきましては、教育委員の久保田委員と伊井委員にもご参加いただきました。ありがとうございました。

井荻小学校は、6年生3クラスが同時に授業を行う形でした。「自分のしあわせ」は何かを考え、クラス一人ひとりの幸せを共有しました。更に、「多様性」を大切にしながら、「みんなのしあわせを創る」ために自分ができること等は何かを考えるという内容でございました。

最後が7月11日、富士見丘中学校の2年生2クラス。

元審議会委員1名が見学に来られたほか、教育委員会からも職員が4名伺いました。

内容につきましては、「みんなのしあわせを創る」ために、「学校」や「まち」、「将来」など様々な場面で自分ならどういうことができるかについて、みんなで話し合ったところでございます。

今後、各意見交換会の報告書をホームページの方にアップしますが、そのほか、天沼小学校と富士見丘中学校の意見交換会の様子を区の広報番組「すぎなみスタイル」にて取り上げてもらいました。8月15日からジェイコムと区の公式YouTubeチャンネルで、放送する予定になっております。

今後開催される意見交換会について、教育委員の皆様にもまたご参加いただくこともあると思いますけど、よろしく願いいたします。

説明につきましては以上でございます。

庶務課長 それではただいまの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

久保田委員 この間の「杉並区教育ビジョン2022」の意見交換会、この実施に当たりまして大変お世話になりありがとうございました。私自身もここにある(4)の井荻小学校の6年生の授業に参加いたしまして、子どもたちだけでなく、いろいろな層の方と関わっていくということは、とても大事な事かなというふうに思いました。

井荻小学校6年生3クラスありまして、道徳の授業で「みんなのしあわせ」について考えるということで1時間、同時並行で授業をやっていましたが、私は1組に入りました。2組が白石教育長、3組が伊井委員でした。

いずれも授業の展開は、前半が「自分のしあわせ」について考えを発表し合う、そして後半が「みんなのしあわせを創る」ということについて、その自分の考えを発表し、それをまたみんなで考え共有した、そんな流れでありました。

子どもたち一人ひとりが前半も後半も自分の考えをタブレットに書き込んで、それをロイロノートで全体アップ、共有していくということで、非常に真面目にというか、一生懸命やっていたなというのが良かったなと思っているところです。

授業が終わった後でも、見学していた校内の先生は、「本当に子ども

たちが一人ひとり真剣に考えて書き込み、また発表していた」、「これは本当に感動しました」とおっしゃっていらして、こういった授業の取組が、今回この6年生3クラスにとって、これからの新たな一步をまた踏み出していったような、そんな機会になったのかなという気がしています。

ちょうど1学期も残り2週間切りましたが、この残り2週間とそして夏休み、それを経て9月には移動教室で弓ヶ浜に行くと言っていましたので、その辺に向けて、6年生がクラスとして、学年としてまとめ、盛り上がりというものが出来上がっていくのかな、そうなればいいなと思っております。それがひいては来年3月の卒業の日、みんなでまさに幸せの卒業の日を迎えることに繋がっていくのかなというふうに思いました。

この日は6年生たちと私たちのちょっとした交流の場面があったわけですが、やはりこの教育ビジョンに関わって、またみんなの幸せということに関わって、いろいろな年代、いろいろな層の人たちが交流していく、話し合っていく、これはとても大事な事かなというふうに思った次第です。これからも何か計画がありましたら、教えていただければと思います。

よろしく願いいたします。

庶務課長 ありがとうございます。本当にご参加いただきまして、ありがとうございます。今後もお声掛けさせていただきますので、是非ご参加いただければと思います。

よろしく願いいたします。

他にはいかがでしょうか。

伊井委員 久保田委員とご一緒に、井荻小学校の方に伺ったんですけれども、私は3組の方に行ったので、またたぶん様子が違うところもあったかもしれませんが、まず私が驚いたのは、タブレットを本当に自由に使いこなしているなということです。

先生と一緒に自分たちで今日の話合いの目標、テーマを作って、自分たちの幸せのために、みんなの幸せのために、今自分たちにできることということテーマに話されていたんですけれども、本当に真剣に、熱心に、一生懸命考えていたという、そういうその授業への臨み方もとても心打たれるものがありましたし、考え方が、私ともすごく年齢的な

ギャップもあるんですけど、もう子どもとか大人とかっていう線引きは無いなというぐらいに感じました。

相手の幸せを願うとか、平等を大切にしていこうとか、それから、一緒に笑う、一緒に創っていくっていうような、まさに教育ビジョンの中にある一人ひとりが当事者という視点が、もう既に子どもたちの意見に感じ取れるなと思いました。日頃ですね、担任の先生を中心に学級を作り上げていっている様子もそれぞれに違うとは思いますが、このビジョンを良いきっかけとして、大人も子どもも一緒に考える場があると、とてもありがたいなと思いました。

あと審議会委員だった方、私たちは審議会には参加するのではなくて、色々ご報告を度々いただいていたけれども、ビジョンを作り上げる過程で本当に細部に渡って心配りをして、お力を発揮していただいたと思うんですけど、実際にその方とお会いできて、そして、フラットにまた熱心に子どもたちと話し合っていた様子を見ることができました。またあの場にはたくさんの教育委員会の方とか、あと地域の方、CSの方もいらしてたんですよ、本当にあの時間、あの場が、みんなで考えられるいい場になってたなっていうふうに思います。

ご一緒させていただいて、本当にありがたかったと思います。子どもたちの方からも学ぶこともたくさんありましたので、ありがとうございました。

庶務課長 ありがとうございます。

児童生徒もですね、コロナ禍でなかなか直接教育委員の方とか外の方と対面で接する機会がなかったということで、貴重な機会になったということと、教育委員会の職員もですね、日頃、児童生徒をサポートはさせていただいているんですけど、直接触れ合ってお話を聞く機会っていうのはそうそうないので、職員からも、子どもたちからこんなに真剣に考えているんだっていうふうなことを直に聞いて、とても勉強になりましたというふうな意見がありました。

伊井委員 審議会委員だった大津さんがおっしゃっていたんですけども、ワードクラウドとかあいつたものを使うのもすごく新しくて、目にもわかりやすく、ああいう機会を作り出すこともいいんじゃないかなと。今回の意見交換会は、多様な大人、多様な機会、多様な場というので、様々な人との対話、そういったことでもすごく望ましい場になっていた

など感じております。

今後ともよろしくお願いいたします。

庶務課長 ありがとうございます。

他にはいかがでしょうか。

對馬委員 関わってくださった皆様、本当にありがとうございます。

子どもたちって本当にすごく力があるなと私も感じているところです。それを教育委員会の事務局の方々が直接肌で感じてきてくださったのもすごく大きなことだったと思いますし、多分学校としてもとてもそれは嬉しかったことだったんじゃないかなと、なかなか事務局の方が来てくださったってお話をするってこともないと思いますので、それもととても良かったことかなと思います。

特に中学3年生はあと3年もすれば選挙ができる年齢ですから、その子たちが真剣にこういう政策的なことを、一緒に考えて作る場所ではないですけども、これがどういうことなんだろうってことを考える、自分たちはどう関わっていけるんだろうって考えること、これはものすごくやっぱり意味のあることだと思います。それからの個人の人生もそうだし、どうやって社会に関わったらいいんだろうっていうこともすごく考えられるいい機会になると思いますので、是非こういう機会がたくさんあるといいなと感じます。

それから子どもたちもちろんなんですが、やっぱり先生であったり、保護者であったり、地域の方であったり、いろんな方々にも考えてもらえるといいなと思います。たぶん普通の保護者や地域の方は「杉並区教育ビジョン」というものがあることもご存知ない方もたくさんいらっしゃると思いますので、そういう方々にも思いが届くといいなというふうには感じてますし、先生方も日々お忙しい中で、そういえばそういうのが何か変わったって言われたかな、というぐらいの認識の方もいらっしゃるかもしれませんが、子どもたちもですけども、大人たちも考える機会が持てたらいいのかなと感じてはおります。

今後ともよろしくお願いいたします。

庶務課長 ありがとうございます。

審議会委員の方からも、是非まずは子どもを中心にビジョンの普及を進めてほしいということもありまして、ただ、今委員がおっしゃったとおりに、様々な大人にも知っていただいて、自ら当事者になっていただ

きたいなという思いがありますので、なるべく広い形でみんなで考えていただくような機会を設けていきたいなとは思っているところでございます。

折井委員 この間、本当にありがとうございます。

一番最初の頃の審議会の報告を見た時に、これは本当に一つの形になるんだろうかっていうふうに思ってしまったぐらいいろいろな意見がありました。その意見を集約していき、しかもそれを一字一句とても注意を払いながらまとめていき、そしてビジョンとして形になった時、「完成した」という気持ちがあったんですけども、この意見交換会の報告を一部ですけれども見せていただいて、それは間違いで、大人、教育の専門家だったり、教育委員会の人であったり、もちろん現場の先生であったり、いろんな大人が、いろいろ考えて作ったものが、今やっと命が吹き込まれたって言うんでしょうかね、やっと本当のビジョンになりつつあるんだなというふうに、本当になんていうんでしょう、感激というんでしょうか、そういう感動を覚えました。

手を挙げてくれたその20校、これは本当に相当多くて、最初は5回もできればいいかなみたいなところから20校っていうことですので、今後もしかするとこの20校の様子を聞いたほかの校長先生がまた手を挙げられるかもしれませぬし、こうやって文字にされた冊子のビジョンが、こういう機会をとおして、本当の生きた、私たちがどう生きるべきかっていうところの教材、考えるきっかけになるということが、本当にこの区が目指したことであると、この報告書を一部見せていただいて、本当に実感いたしました。

先ほどから出ているように、教育委員会の私も含めてですけれども、どうしても現場とは違うところにいる人間が、現場とこのビジョンを通じて繋がり合うっていうところも、とつてもとつても本当に素敵なことで、教育に携われることの幸せというんでしょうか、それをこのビジョンを通じて感じさせてもらえるんだなというふうに思いました。

今後とも本当に回数が多いですので、嬉しい悲鳴という一言に尽きると思うのですが、いろいろと企画から運営からいろいろ難しいところもあるかと思っておりますけれども、引き続きどうぞよろしく願いいたします。

庶務課長 ありがとうございます。

本当にそうで、これを作って出来たら終わりではなくて、やはり皆さ

んに、私たちが大切にしたい教育というのを一人ひとりが教育の当事者になっていただいで考えていただきたいという思いで、理解促進のために今行ってますので、引き続きやっていきたいなと思ってます。

他はよろしいでしょうか。

それでは無いようですので、報告事項1番についての質疑を終わります。

教育長 それでは以上で本日予定しておりました日程はすべて終了いたしました。

庶務課長、連絡事項がございましたらどうぞ。

庶務課長 次回の教育委員会定例会につきましては、7月27日水曜日、午後2時からを予定しています。どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

教育長 それでは、本日の教育委員会を閉会いたします。